

# 職員リレーエッセイ

ニコニコハウス鳴海  
生活支援員 丹羽隆文

## 「人生はタイミング」

私の人生は生まれた時から決まっていたのだろうか。私が“ニコニコハウス”という職場で働くことは生まれた時から決まっていたのだろうか。私はふとした時に突然にそのように思うことがある。

振り返ると、私は高校生の頃服飾関係に興味があり、将来は服飾関係の仕事につきたいと思っていた。しかしある日、私の高校に学校案内としていくつかの専門学校がパンフレットを持って学校紹介をしに来てから私の人生は変わった。何個か話を聞くなか、少し興味があったN専門学校の話を聞く時に、小学校からの仲の良い友人もたまたま同じタイミングでN専門学校の話を聞くことになった。その頃自分は服飾関係に少し不安を抱いており、「本当に大丈夫かな？どうしよう…」と迷っていた時だった。そのタイミングでN専門学校のことを仲の良い友人と「いいよね！」「興味あるよね！」と言い体験入学に行ったことから私はN専門学校に入学する事になった。

もし、あの時あのタイミングで友人と話を聞かず、私も服飾関係に不安を抱いていなければ違う道を進んでいたのだろうか。そう考えると人生はとても面白い。そして私がニコニコハウスで働きたいと思ったことも、他の施設も含めて色々な施設に興味があり、正直どこにしようか悩んでいた。その時に学校の先生含め友人先輩などに「ニコニコハウスはどう？」と言われニコニコハウスを受け、就職する事になった。そして今に繋がっている。何十通り、何百通りある中から今ここに居るので、今を大切に、また新しい出会いや体験などをしていきたいと思う。

“あの時に～” “あの頃に～” と考えれば考えるほど想像は膨らむ。1分、1秒のすれ違いが本当に面白い。

次回はニコニコハウス鶴里の楠本さんに繋がります。

( 4 ) A J Uニコニコハウス通信 (第 282 号)

平成 年

低料第三種郵便物許可  
月 日発行 (増刊)